

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などを質問するもので、定例会に限って行われます。今回の一般質問は3月14日から16日までの3日間で行い、12人の議員が質問に立ちました。掲載原稿は質問者本人が要約したものです。

番	質問者	質問事項
1	濱洲 大心	① 崎津集落の世界遺産登録、再推薦に向けて ② 人口減少抑制と地域の高校とのつながり ③ 小学校の部活動、社会体育移行について ④ マイナンバー制度への取り組みについて
2	赤木 武男	① 国民健康保険の医療費適正化に向けた取り組みについて ② 太陽光パネルの将来にわたる廃棄物処理について ③ 施設設備等に係る適正な設計業務委託料について ④ 小型無人機「ドローン」導入について
3	大塚 基生	① 総合計画と施政方針について
4	浜崎 昭臣	① 「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の世界遺産推薦取り下げと天草市の今後の対応について ② 新年度予算・商工費の内訳と関連事業について ③ 天草地域一般廃棄物処理施設の現状と今後の新施設の計画について
5	浜崎 義昭	① 施政方針と地方創生について
6	柴田 誠	① 子育て家族支援のネウボラについて ② 特定不妊治療・一般不妊治療について ③ 公園利活用について
7	益田 政昭	① チャレンジ基金について ② 牛深港周辺の開発について ③ 天草市の周辺部における交通手段について
8	下田昇一郎	① 学校教育の充実について ② スポーツの推進について ③ 組織力・職員力の向上について
9	西村 尚武	① 支所機能のあり方について ② 本庁舎建設について
10	本田 武志	① 平成28年度施政方針について問う
11	池田 裕之	① 世界遺産登録の経過と取り組みについて ② 防災行政無線について ③ 河浦高校閉校と跡地利用について
12	蓮池 良正	① 施政方針を聞いて ② 消防団員の確保 ③ おもてなしの実践 ④ 水保病被害者救済

「かかりつけ医・薬局」に関する制度改正 小型無人機「ドローン」の導入について



赤木 武男 議員

「4月から変わる医療の値段」

赤木 4月から日常的な診療や情報提供を行う「かかりつけ」の医師、歯科医、薬局・薬剤師に対する制度改正が行われる。法改正に当たっては、外来診療における「患者登録制」導入の役割を担わせようと見てとれるが、現実には都市部に利便性があり、地方にはあまりなじまないのではないかと懸念されている。

市民生活部長 高齢化が進む中、地域や自宅で医療や介護が受けられる「地域包括システム」を推進するため「かかりつけ」の医師や薬局に対して新たな診療報酬を設ける。制度改正により都市部では、門前薬局が身近にあるが、地方では少なく交通の便も悪く、高齢者にとっては負担となるケースもある。

赤木 ジェネリック医薬品の普及促進に向けた取り組みを伺う。
市民生活部長 ジェネリック希望カードや啓発チラシを全世帯に配布。また、後発医薬品を利用すれば負担軽減につながる対象者に対して、差額通知を年2回発行している。
赤木 保健師や看護師の訪問指導による、過度の受診抑制効果の現状に



市民生活部長 同一疾病で月3つ以上の医療機関を受診する重複受診者や、月15回以上受診する頻回受診者に対し、訪問指導を行う「重複・頻回受診者訪問事業」を平成26年度から取り組んでいる。

赤木 近年、甚大な被害をもたらす火山の噴火や台風、ゲリラ豪雨、地震などの自然災害や行方不明者の捜索など、広範囲に効率的な情報収集が可能なドローンの活用例が多く見られる。市も導入してはどうか。

市長 本市は面積が広く、切り立った海岸線や離島、深い山あいなど変化にとんだ地形でドローンの活用効果は大きいと思われる。また行政の中でも活用できる業務は大いにあり、平成28年度中の導入に向けて取り組む。

崎津集落、世界遺産再推薦に向けて



濱洲 大心 議員

濱洲 世界遺産登録に向けて、平成27年度までに、どれくらいの予算を使ったのか。来訪者の推移は。

観光文化部長 平成19年度から平成27年度にかけて、8億4,343万円を使用している。来訪者の数は平成19年度、約2万4,000人。平成20年度、約3万5,000人。平成27年度は1月末で約7万4,000人。年々増加の傾向である。

濱洲 長崎の教会群の信者の中には、教会はお祈りの場であり、神聖な場所なので観光目的、商売目的に使わないで欲しいと言われる方もおられるが、世界遺産登録を望む主たる目的は何であるのか。

観光文化部長 崎津集落は文化資源、教育資源である。世界遺産に登録される事で歴史認識が深まり、次世代へも継承され地域振興に役立ち、結果、来訪者も増えて観光振興へつながっていくと考えている。

濱洲 世界遺産推薦の構成資産も今後、大幅な見直しが必要となってくると思うが、今後はどのような工程で取り組んでいかれるのか。
観光文化部長 国内推薦選考に立候補するために、3月末までに推薦書を提出する。その後も関係機関の助言を頂きながら推薦書の改定作業に取

り組み国内推薦を勝ち取るよう努力していく。
「市と地域の高校とのつながり」
濱洲 中学を卒業する生徒が、地元高校へ進学志望を持つように、高校の科再編など提言などできないか。
教育部長 天草地域の高校の特色ある学校づくりに必要であると考えている。
濱洲 市内に残る高校生に医療費免除や一部補助は考えられないか。
健康福祉部長 当分の間は中学3年生までの助成として子育て支援の充実を図っていく。
「小学校部活動の社会体育移行は」
濱洲 平成30年に部活動が完全に社会体育に移行されるが現在の取組はどのような状況か。
教育部長 社会体育コーディネーターを配置し市内全小学校を訪問し部活動の実態把握や地域のクラブチーム等の視察を行っている。



教会群の世界遺産推薦 取り下げについて



浜崎 昭臣 議員

浜崎 今回こそ登録をと信じた市民のモチベーションが下がるのは必至対策は。

市長 登録までの猶予期間と前向きにとらえ、積極的な観光振興に取り組んで行く。

浜崎 イコモスが「禁教期」をより重要視するのであれば、「重要文化的景観」の選定を受けていなくとも今富、大江、高浜などの天草西海岸一帯で潜伏キリシタンが発覚した「天草崩れ」の地域までコアゾーンを拡大する事は全く不可能か。
観光文化部長 構成資産の追加は、非常に困難である。

「天草宝島物産公社について」
浜崎 「天草宝島観光協会」とのみ分け、今後の方向性をお尋ねする。
市長 二つの組織は、観光、物産を通じて地域活性化を図っていく。関係機関と連携を図りながら、天草産品の知名度の向上、販路の拡大を強力に進めていく。

浜崎 物産公社で旅行業を実施する予定か。
市長 旅行業を行うことは考えていない。



牛深クリーンセンター

「一般廃棄物処理施設について」
浜崎 有明町に建設予定の「新ごみ処理施設」の完成年度は。
市長 平成34年度の供用開始を目標としている。
浜崎 「牛深し尿処理場」の具体的な計画を問う。
市民生活部長 平成29年度中に施設解体を行う計画。
浜崎 「牛深一般廃棄物最終処分場」の今後の計画をお尋ねする。
市民生活部長 地元の方々の意見を伺い、地域からの理解を経て納得のいく完了整備を行う。

「牛深クリーンセンター」も6年後には廃止になる。新施設への持ち込みは現実不可能であるため、「牛深クリーンセンター」を中継施設として是非検討して頂きたい。
市民生活部長 牛深地域住民の納得のいく方向で前向きに検討する。